

# 日本史 Ⅰ/11

第1問 日本と中国の関係について述べた文を読み、下の空欄 [ 1 ] ~ [ 10 ] にあてはまる適語を記せ。

中国が周辺諸国・地域の首長を王に任じて支配下に置くしくみを冊封体制と呼ぶ。弥生時代の日本列島にあった小国の一つである [ 1 ] 国も後漢に朝貢して、首長が王の称号を光武帝から授けられていた。古墳時代のヤマト政権の倭王「武」も南朝の宋の順帝から「六国諸軍事安東大將軍倭王」の称号を得ていた。しかし、7世紀の推古天皇のときに派遣された遣隋使が携えた国書には、朝貢関係にありながら冊封体制から離脱する内容が記されていたため、隋の皇帝 [ 2 ] の怒りをかった。その後の遣唐使も、朝貢関係にありつつも冊封体制には入らなかった。その後日本は663年の [ 3 ] の戦いでの敗戦によって一時的に唐との関係が緊張したこともあったが、8世紀には、ほぼ20年に1度の割合で遣唐使が派遣され、中国の制度や文物の摂取につとめた。その後9世紀末には、唐の衰退にともない遣唐使の派遣は停止された。

日本は、10世紀後半に中国を統一した宋とは正式な国交はなかった。しかし、宋の商人が九州の博多などに来航することで貿易は行われ、平清盛により摂津の [ 4 ] が修築されて、日宋貿易は一層さかんになった。鎌倉時代になると、元は日本に朝貢を要求したが、鎌倉幕府の執権 [ 5 ] はそれを拒否したため、2度日本に襲来した。しかしこの蒙古襲来後も、建長寺船や天龍寺船が元に派遣されるなど、民間貿易は行われた。元にかわった明が、 [ 6 ] の禁止を室町幕府に求めたこともあり、幕府は使者を派遣して冊封体制に入り、利益の大きい朝貢貿易を開始した。日明貿易は一時中断した時期もあったが、ほぼ150年間続いた。全国統一を完成した豊臣秀吉は、対外的野望のもとに朝鮮侵略を行って明とも交戦した。江戸幕府も明との国交を開くことはできなかった。鎖国体制下の日本では長崎郊外の [ 7 ] で中国との民間貿易が継続された。また、琉球王国は中国の冊封体制に入っていたため、薩摩藩は琉球王国を経て中国からの品々を得ていた。

明治政府は、1871年に清国と日清修好条規を結んだ。この条約は、中国との初めての対等条約で、日本が中国の冊封体制を否定したことを意味した。その後、日本は清国の冊封体制下にあった朝鮮に進出しようとして、清国と対立した。 [ 8 ] 事件の結果締結された日朝修好条規は、「朝鮮国ハ自主ノ邦ニシテ日本国ト平等ノ権ヲ有セリ」とうたった。日本は、壬午軍乱・甲申事変によって朝鮮への影響力を失い、その一方で、清国の朝鮮進出は強化された。しかし、その後日本が日清戦争に勝利したことにより、清国の朝鮮への宗主権は否定された。朝鮮は1897年に国号を大韓帝国と改め、朝鮮国王も皇帝を名乗った。また、日清戦争での清国の敗北は、列強の中国分割の引き金となった。

その後日本は、日露戦争・第一次世界大戦・満州事変・日中戦争を経て中国への侵攻を進めたが、第二次世界大戦では敗戦国となった。中国はこの戦争においては戦勝国になったものの、国内は国民党と共産党の内戦に突入した。 [ 9 ] が率いる国民党は台湾にのがれ、共産党は北京で中華人民共和国の成立を宣言した。日本は当初、台湾の国民党政権を正式な中国政府としたが、1972年の [ 10 ] により中華人民共和国を正式な中国政府と認め、日中国交正常化が実現した。

## 日 本 史 $\frac{2}{11}$

第2問 13世紀～16世紀の次の年表をみて、下の問い（問1～10）に答えよ。

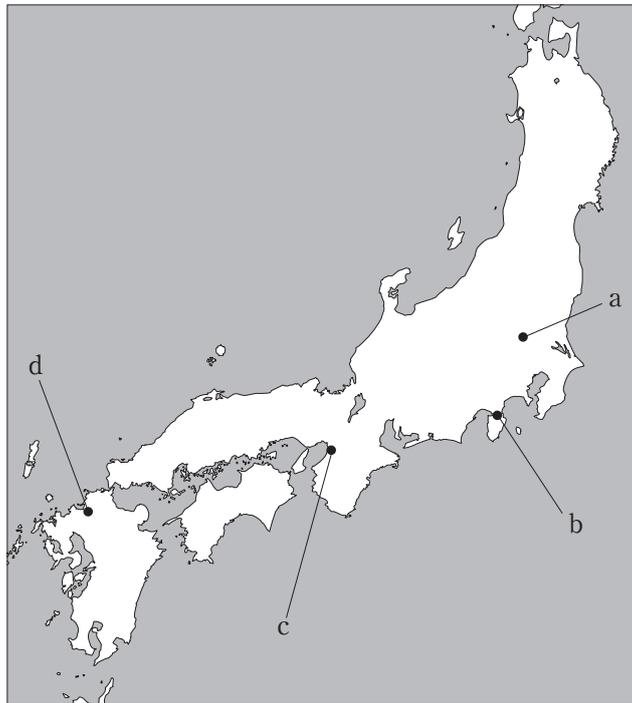
年代	おもな出来事
1219	① <u>源実朝が公暁に暗殺される</u>
1221	□ 1 □ 上皇が北条義時追討を命じる
1247	② <u>宝治合戦が起こる</u>
1297	永仁の徳政令が出される
1333	③ <u>鎌倉幕府が滅亡する</u>
1352	最初の半済令が発布される
1392	④ <u>足利義満が南北朝の合体を実現する</u>
1399	大内義弘が〈甲〉で討たれる
1441	⑤ <u>嘉吉の徳政一揆により徳政令が発布される</u>
1455	鎌倉公方足利成氏が〈乙〉に拠る
1467	応仁の乱が始まる
1495	宗祇が連歌集『□ 2 □』を編集する
1510	⑥ <u>朝鮮居留日本人の反乱が起こる</u>
1549	⑦ <u>フランシスコ＝ザビエルが鹿児島に到着してキリスト教を伝える</u>
1582	⑧ <u>天正遣欧使節が派遣される</u>
1596	サン＝フェリペ号事件が起こる。26 聖人殉教が起こる

# 日本史 $\frac{3}{11}$

問1 空欄   に入る語句の組合せとして正しいものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- (ア) 1 後鳥羽 2 新撰菟玖波集      (イ) 1 後鳥羽 2 犬筑波集  
(ウ) 1 後白河 2 新撰菟玖波集      (エ) 1 後白河 2 犬筑波集

問2 空欄〈甲〉〈乙〉に入る地名は次の地図上 a～d のどこに該当するか、正しいものの組合せを、下の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。



- (ア) 甲-c 乙-a      (イ) 甲-c 乙-b  
(ウ) 甲-d 乙-a      (エ) 甲-d 乙-b

問3 下線部①について、源実朝の和歌集は何か、答えよ。

問4 下線部②について、これによって滅ぼされた有力御家人は誰か、答えよ。

## 日本史 $\frac{4}{11}$

問5 下線部㉔について、鎌倉時代後期の政治や鎌倉幕府滅亡について述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せを、下の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

X 得宗北条高時の内管領平頼綱が権勢をふるった。

Y 新田義貞が六波羅探題を攻め落とした。

(ア) X 正 Y 正 (イ) X 正 Y 誤

(ウ) X 誤 Y 正 (エ) X 誤 Y 誤

問6 下線部㉕に関連して述べた文として正しいものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

(ア) 足利義満は、将軍職を義教に譲り、太政大臣になった。

(イ) 足利義満は、北山に書院造の鹿苑寺金閣を造営した。

(ウ) 観応の擾乱は、南北朝の動乱が長期化した原因の一つであった。

(エ) 南朝の後小松天皇が北朝方に譲位することで南北朝が合体した。

問7 下線部㉖について、この出来事のきっかけとなった嘉吉の変で将軍を暗殺した人物は誰か、答えよ。

問8 下線部㉗について、この事件を何というか、答えよ。

問9 下線部㉘に関連して、16世紀の出来事について述べた次の文I～IIIについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の(ア)～(カ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

I 後陽成天皇が聚楽第に行幸をした。

II 織田信長が将軍足利義昭を京都から追放した。

III ポルトガル人が種子島に漂着して、鉄砲を伝えた。

(ア) I→II→III (イ) I→III→II (ウ) II→I→III

(エ) II→III→I (オ) III→I→II (カ) III→II→I

問10 下線部㉙について、天正遣欧使節の派遣を勧めた宣教師は誰か、答えよ。

# 日本史 $\frac{5}{11}$

第3問 古代から近現代の政治・外交・経済・文化に関する下の問い（問1～10）に答えよ。

問1 平安時代の政治や経済について述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の(ア)～(カ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- Ⅰ 太政官に記録荘園券契所が設置されて、基準に合わない荘園は停止された。
- Ⅱ 左大臣藤原時平は、策謀を用いて右大臣菅原道真を大宰府に左遷した。
- Ⅲ 村上天皇のとき、本朝（皇朝）十二銭の最後である乾元大宝が鑄造された。

- (ア) Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ      (イ) Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ      (ウ) Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ
- (エ) Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ      (オ) Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ      (カ) Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

問2 次の仏像彫刻X・Yと、その特徴について述べた下の文a～dについて、正しいものの組合せを、下の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

X 興福寺阿修羅像                      Y 室生寺弥勒堂釈迦如来坐像

- a 木を芯にして粘土を塗り固めた塑像である。
- b 原型の上に麻布を幾重にも漆で固め、原型を抜き取って作る乾漆像である。
- c 仏像を部分に分けて別々に分担して彫り、これを寄せ合わせて作られた。
- d 一木造で翻波式とよばれる鋭い衣文の表現をもつ。

- (ア) X - a   Y - c      (イ) X - a   Y - d
- (ウ) X - b   Y - c      (エ) X - b   Y - d

問3 室町時代の惣村について述べた文として誤っているものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- (ア) 惣村の構成者を惣百姓といい、おとな・沙汰人が村の指導者であった。
- (イ) 村民が自ら定めた惣掟に背くと、村から追放されたりした。
- (ウ) 村内の秩序を破ると、領主が警察権を執行して地下検断を行った。
- (エ) 領主に納める年貢を惣村がひとまとめに請け負う地下請が行われた。

問4 中世の文化について述べた次の文a～dについて、正しいものの組合せを、下の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- a 南北朝時代には茶寄合が各地で行われ、かけ物を争う闘茶が流行した。
- b 鎌倉時代に村田珠光が侘茶を創始し、室町時代に千利休が発展させた。
- c 鎌倉時代に吉田兼俱が反本地垂迹説（神本仏迹説）にもとづく唯一神道を完成した。
- d 鎌倉時代末期に宋学が伝えられ、室町時代には五山の寺院などで研究が進められた。

- (ア) a・c      (イ) a・d      (ウ) b・c      (エ) b・d

## 日本史 $\frac{6}{11}$

問5 江戸時代の藩政改革について述べた文として正しいものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- (ア) 岡山藩の池田光政は、郷校彰考館を設置して教育の振興に努めた。
- (イ) 熊本藩の上杉治憲は、特産物生産を奨励し、藩校興譲館を設立した。
- (ウ) 薩摩藩の鍋島直正は、黒砂糖の専売や琉球王国との貿易の増加をはかった。
- (エ) 長州藩の村田清風は、越荷方を設置するなどの改革を行い、財政再建に成功した。

問6 江戸時代初期の外国との関係や江戸幕府の鎖国政策について述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の(ア)～(カ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- Ⅰ 日本人の海外渡航と帰国を禁止した。
  - Ⅱ ポルトガル船の来航を禁止した。
  - Ⅲ イギリスが平戸の商館を閉鎖して退去した。
- (ア) Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ    (イ) Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ    (ウ) Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ  
(エ) Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ    (オ) Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ    (カ) Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

問7 元禄文化について述べた文として誤っているものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- (ア) 近松門左衛門は、『世間胸算用』のなかで町人の生活を活写した。
- (イ) 歌舞伎役者の坂田藤十郎は、上方で和事を得意として活躍した。
- (ウ) 古学派の荻生徂徠は、『政談』のなかで武士の土着の必要性を説いた。
- (エ) 新井白石は、『読史余論』により徳川政権の正統性を述べた。

問8 江戸時代末期の政治・社会・経済について述べた次の文a～dについて、正しいものの組合せを、下の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- a 大老井伊直弼は無勅許で通商条約に調印し、徳川慶福を将軍の継嗣とした。
  - b 老中安藤信正は孝明天皇の妹和宮を将軍徳川家定の妻に迎えた。
  - c 貿易の輸入品は毛織物と綿織物が過半を占め、初期は大幅な輸入超過であった。
  - d 日本と外国との金銀比価が異なったため、多量の金貨が海外に流出した。
- (ア) a・c    (イ) a・d    (ウ) b・c    (エ) b・d

## 日 本 史 $\frac{7}{11}$

問9 明治時代に活躍した次の人物X・Yと、その業績について述べた下の文a～dについて、正しいものの組合せを、下の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

X フェノロサ                      Y 穂積八束

- a 岡倉天心とともに日本の伝統美術を高く評価して、その保存を訴えた。
- b 工部美術学校に招かれ西洋美術を教授した。
- c ボアソナードの民法に反対し、論文「民法出デ、忠孝亡ブ」を発表した。
- d 岩倉使節団の政府随員として欧米を見聞し、『米欧回覧実記』を著した。

(ア) X - a   Y - c            (イ) X - a   Y - d

(ウ) X - b   Y - c            (エ) X - b   Y - d

問10 第二次世界大戦後の政治・社会経済について述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の(ア)～(カ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- Ⅰ 経済成長の反面、産業公害が深刻化し、公害対策基本法が制定された。
- Ⅱ 石炭・鉄鋼などの重要産業部門に資金・資材を集中する傾斜生産方式がとられた。
- Ⅲ 朝鮮戦争が始まると、不況から抜け出して特需景気が到来した。

(ア) Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ    (イ) Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ    (ウ) Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ

(エ) Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ    (オ) Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ    (カ) Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

第4問 明治後期から昭和初期にかけての政党政治について述べた次の文を読み、下の問い（問1～10）に答えよ。

明治時代は薩長藩閥の政治であり、藩閥政治は議会や政党を無視する<sup>(a)</sup>超然主義を基本としたが、大正時代には政党政治が成熟していった。

日本で最初の政党内閣は、1898年に成立した憲政党による大隈重信内閣である。この内閣は、尾崎行雄文相の演説をきっかけに短命に終わった。大隈内閣の後は、第2次山県有朋内閣が成立した。山県は、政党の影響力が官僚や軍部に及ぶことを防ぐための諸策や、<sup>(b)</sup>政治・労働運動の規制を進めた。

一方、伊藤博文は、1900年に立憲政友会を結成して第4次伊藤博文内閣を組織した。その後、山県も伊藤も政治の第一線から退き、元老として影響力を行使した。そして、それぞれの後継者である桂太郎と西園寺公望が交互に首相となった。これを<sup>(c)</sup>桂園時代という。第2次西園寺内閣のとき  問題が起こり、西園寺内閣が倒れて第3次桂内閣が成立したことで、<sup>(d)</sup>第一次護憲運動が高揚し、桂内閣は退陣した。

大正時代になると、<sup>(e)</sup>大正デモクラシーの風潮を背景に1918年に本格的政党内閣として<sup>(f)</sup>原敬内閣が成立した。原が暗殺された後は高橋是清内閣が組織されたが、その後政党内閣は継続されず、 が貴族院を背景に超然内閣を組織するにいたって、第二次護憲運動が起こった。このとき、護憲三派が総選挙に勝利して、<sup>(g)</sup>加藤高明内閣が成立した。この内閣以後、犬養毅が射殺されるまで衆議院で議席の多数を占める政党による政党内閣が継続した。この慣例を<sup>(h)</sup>「憲政の常道」という。

この時期は、<sup>(i)</sup>恐慌つづきの経済不況を背景に軍国主義が台頭した。さらに、日中戦争・太平洋戦争が進展するなかで、議会は無力となり、軍部や政府への抵抗勢力とはなりえなかった。

問1 空欄   に入る語句の組合せとして正しいものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- |     |   |        |   |       |
|-----|---|--------|---|-------|
| (ア) | 1 | 2個師団増設 | 2 | 加藤友三郎 |
| (イ) | 1 | 2個師団増設 | 2 | 清浦奎吾  |
| (ウ) | 1 | 統帥権の干犯 | 2 | 加藤友三郎 |
| (エ) | 1 | 統帥権の干犯 | 2 | 清浦奎吾  |

## 日本史 $\frac{9}{11}$

問2 下線部㉑に関連して、次の史料の演説を行った当時の内閣総理大臣は誰か、答えよ。

今般憲法発布式を挙行ありて、大日本帝国憲法及之に付随する諸法令を公布せられたり。帝国議会は明年を以て開設せらるべし。(中略) 憲法は敢えて臣民の一辞を容るゝ所に非ざるは勿論なり。唯だ施政上の意見は人々其所説を異にし、其の合同する者相投じて団結をなし、所謂政党なる者の社会に存立するは亦情勢の免れざる所なり。然れども政府は常に一定の方向を取り、超然として政党の外に立ち、至公至正の道に居らざる可らず。各員宜く意を此に留め、不偏不党の心を以て人民に臨み、撫馭宜きを得、以て国家隆盛の治を助けんことを勉むべきなり。(「明治政史」)

注) 撫馭…人民をいたわりつつ統治する

問3 下線部㉒について、第2次山県有朋内閣で制定されたこの法令は何か、答えよ。

問4 下線部㉓について、次の内閣X・Yと、その業績a～dについて、正しいものの組合せを、下の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

X 第1次西園寺公望内閣                      Y 第2次桂太郎内閣

- a 工場法の制定
- b 鉄道国有法の制定
- c 第1次日英同盟協約の締結
- d 戊申詔書の発布

(ア) X - a    Y - c                      (イ) X - a    Y - d

(ウ) X - b    Y - c                      (エ) X - b    Y - d

問5 下線部㉔について述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せを、下の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

X 「閥族打破・憲政擁護」のスローガンを掲げ、この運動が全国に広がった。

Y 立憲政友会と立憲国民党が桂内閣の不信任案を議会に提出した。

(ア) X 正    Y 正                      (イ) X 正    Y 誤

(ウ) X 誤    Y 正                      (エ) X 誤    Y 誤

問6 下線部㉕に関連して、政党内閣を支える理論となった民本主義を唱えた人物は誰か、答えよ。

## 日本史 $\frac{10}{11}$

問7 下線部㉑の施策について述べた文として正しいものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- (ア) 衆議院議員選挙法を改正して、小選挙区制から大選挙区制へ変更した。
- (イ) 野党の立憲政友会が普通選挙法案を提出したが、時期尚早として拒否した。
- (ウ) 選挙権の納税資格を引き下げて、直接国税10円以上とした。
- (エ) 高等学校令や大学令を制定して、高等教育機関の拡充をめざした。

問8 下線部㉒に関連して、この内閣で調印され、治安維持法制定の背景となった条約の名称は何か、答えよ。

問9 下線部㉓に関連して、「憲政の常道」の時期に憲政会（のちに立憲民政党）の内閣で外務大臣を歴任したのは誰か、答えよ。

問10 下線部㉔に関連して、この時期の出来事について述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の(ア)～(カ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- Ⅰ 台湾銀行救済の緊急勅令案が枢密院で否決され、内閣が総辞職した。
  - Ⅱ 財政緊縮・産業合理化を進めるとともに金輸出が解禁された。
  - Ⅲ 関東大震災が起り、大量の震災手形が出まわった。
- (ア) Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ    (イ) Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ    (ウ) Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ  
(エ) Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ    (オ) Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ    (カ) Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

## 日本史 $\frac{11}{11}$

**第5問** 次のテーマについて、それぞれ200字以内で論述せよ。

**問1** 江戸時代の金貨・銀貨・銭貨の性格や特徴を順に説明した上で、田沼時代の貨幣政策の内容と意義について、200字以内で論述せよ。

**問2** 日露戦争以降、ワシントン体制までの中国をめぐる日米関係について、次の語句を必ず用いて、200字以内で論述せよ（使用した語句には下線を施すこと）。なお、アメリカの表記として「米」を使用してもよい。

南満州          特殊権益          山東省